

くにたちの教育

第174号

発行・編集/
国立市教育委員会

〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1
https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/
電話(576)2111 / FAX(576)3277

記事PDFと音訳版は
教育委員会▶
ホームページ・
教育広報
「くにたちの教育」



国立市総合教育センターのご紹介

令和5年度10月から「国立市総合教育センター」を開設しています。就学・教育の相談、学校に通うことができない児童・生徒への支援、国立市立小・中学校の教育活動への支援を一体的に実施することにより、一人ひとりを大切にする教育の充実を図っています。

国立市総合教育センター

施設案内

- 開館時間:
平日午前9時から午後5時まで
(土・日・祝、年末年始を除く)
- ※教育支援室は平日午前9時30分
から午後3時まで
上記休館日のほか、学校の春
季・夏季・冬季休業日は閉室
- 住所:富士見台3-21-1



在籍園・学校や
医療機関等で
すすめられた
子どもに最も合った
環境を選びたい
発達がゆっくりで
集団についていけないか心配

学校へ行きたくない
友達関係が上手くいかない
勉強が思うように進まない
子どもの性格や行動が気になる



就学相談

- 教育的な支援を必要とする児童・生徒(入学前の未就学児を含む)の就学にあたってのご心配・ご不安をお伺いします。児童・生徒にとってどのような教育環境や支援形態が望ましいか、専門の相談員と一緒に考えていきます。
- 通常の学級における支援の状況をお伝えしながら、市内の小・中学校に設置の支援学級、通級指導学級、支援教室や市外の都立特別支援学校への就学支援を行います。



問い合わせ先: 就学相談室 (☎ 571-7855)

市ホームページ▶



【令和7(2025)年度入学予定者の就学相談について】

小学校入学時に、支援学級や支援教室等の利用を開始できるようにするための就学相談について、以下のとおり受け付けます。

受付期間 令和6(2024)年4月1日(月)から
令和6(2024)年7月31日(水)まで

近年、申込件数が増加する中で、年度内に計画的かつ丁寧に相談業務を進めるために、期限を早めに設定しております。小学校就学に向けて、ご検討している場合は、期間内にご連絡ください。

教育相談

児童・生徒やご家族が抱える様々な悩みについて、プレイセラピーやカウンセリングを行いながら、専門の相談員と一緒に考えていきます。

問い合わせ先: 教育相談室 (☎ 576-2109)



教育支援

心理的な理由その他の事情により学校に通うことができない状態にある児童・生徒に、安心して学習できる場所を提供し、登校復帰や社会的自立に向けた指導等を行います。全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けるために必要な情報の発信に努めてまいります。

問い合わせ先: 教育支援室「さくら」(☎ 576-2190)



学校支援

教職員の資質向上を図るため、教職員への研修、学校の教育活動の支援を行っています。また、児童・生徒の福祉の向上を図るため、スクールソーシャルワーカー等の専門職員を配置しています。

問い合わせ先: 学校支援室 (☎ 572-2655)

教育支援説明会

「教育支援説明会」を令和6(2024)年5月14日(火)に開催予定です。説明会の会場でも、就学相談の申込を受け付けます。説明会詳細については、4月に在籍園から配布される案内チラシ及び4月の市報の案内をご確認ください。

右の二次元バーコードから支援体制についての動画を視聴いただけます▶



土曜日にも相談を行っています

「就学相談」及び「教育相談」は、様々な理由により平日に相談することが難しい保護者の方のニーズにお応えするために、月2回、土曜日にも行っています。事前予約制(先着順)ですので、各相談室にお電話でお問合せください。

日時	毎月第2・4土曜日(祝日を除く)
就学相談	午前9時から正午、午後1時から午後5時
教育相談	午前9時30分から正午、午後1時から午後5時

寄付をいただきました

匿名のお手紙と現金3万円が総合教育センター宛に届きました。市への寄付として大切に活用させていただきます。

総合教育センター
☎ 571-7855

令和6年 くににはたちの集いを開催しました！

1月8日(月・祝)成人の日に、くにたち市民総合体育館にて令和6年くににはたちの集いを行いました。

今年度は、4年ぶりに一回制で実施し、参加者全員が一堂に集うことができました。

第一部くににはたちの集いでは、市長による「お祝いのことば」の後、くににはたちの集い準備会代表として2名の方から「代表のことば」をお話いただきました。くににはたちの集い準備会による企画では、「くにたちクイズ de ビンゴ」を実施しました。「くにたちクイズ de ビンゴ」は、国立市にまつわるクイズを行いながら、答えの数字でビンゴ大会を行うという参加型企画で、大いに盛り上がる内容となりました。

第二部ケーキパーティーは、4年ぶりの開催となり、参加者同士で歓談を楽しむ様子が見られました。

当日は、424名の方が参加し、準備会企画で盛り上がり、懐かしい友人や恩師との再会を楽しんでいる様子でした。

20歳を迎えた皆様の更なる飛躍をお祈り申し上げます。



代表のことば



くににはたちの集い準備会メンバー



準備会の様子



準備会企画 クイズ de ビンゴ

また、令和7年くににはたちの集いに向け、準備会(実行委員会)メンバーを募集します。5月ごろから募集を開始し、市報やホームページでお知らせします。来年度中に20歳になる方を対象としています。興味のある方は是非お申し込みください。

生涯学習課社会教育・文化芸術係

「ボッチャくにたちカップ2023」を開催しました

市では、東京2020パラリンピック競技大会を契機とし、しょうがいや性別、年齢に関わらず楽しむことができる「ボッチャくにたちカップ2023」を令和5年12月16日(土)に開催しました。

大会当日は、小学生の友人同士やご家族など、20チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。

20チームの中から見事激戦を勝ち抜き優勝した「杏林大学ボッチャ部」チームと、第3位の「∞(むげん)三銃士」チームは、市を代表して1月27日(土)に東京ドームスポーツセンター東久留米で開催された「令和5年度東京都市町村ボッチャ大会」に出場し、両チームともベスト16に入る大健闘でした(準優勝チームは代表辞退)。



生涯学習課

「スポーツ子どもの日 オリンピック・パラリンピック競技を楽しもう」を開催しました



2月18日(日)に、東京女子体育大学にて、スポーツ子どもの日を開催しました。今回は、陸上競技、体操競技、ブラインドサッカーの3競技を市内の小学1年生から6年生51名が体験しました。

陸上競技では、走り方や跳躍の仕方などの正しい動作について、先生方に見本を見せてもらいながら取り組みました。

体操競技では、大学の本格的な体操器具を使用し、平均台や吊り輪など、日頃体験できない競技を体験しました。

ブラインドサッカーでは、アイマスクを着用しての移動や、音の出るボールを使ってパスを行うなど、音や声でコミュニケーションをとる難しさや楽しさを体験した子どもたちは笑顔がいっぱいで、大いに盛り上がりました。



生涯学習課



くにたちの遺跡と発掘調査を紹介します！(第5回)



くにたち郷土文化館「トッテー」

国立に住んだ考古学者

今回は、考古学者として戦前は縄文土器の編年研究を進め、戦後は国立市に住んで、多摩地域の文化財に関する様々な活動を行った甲野勇を紹介します。

甲野は、眼科医院であった自宅に併設された薬草園の管理のために同居していた大叔父の部屋で黒曜石の石器に触れたことがきっかけとなり、人間の歴史に関心を持つようになりました。中学生になると考古学に興味を持ち、一人で発掘に行き遺跡の報告書を書いています。



多喜窪遺跡の土器をみる甲野 昭和24(1949)年

大正11(1922)年に東京帝国大学(現在の東京大学)理学部人類学科に進学し、考古学のほかに、民族学や人類学の知識を得て、民族誌(特定の民族集団をとりまく世界、文化や社会、環境などの具体的な記述)に興味を持つようになりました。

縄文土器の研究

当時、縄文土器にはさまざまな種類(形や文様)があるということでは分かっていました。しかしその違いの要因が、各地域の生活様式の差によるものか、層位学的・型式学的*にみた場合の時期差なのかは明らかになっていませんでした。甲野は同じく東大人類学教室で学び、後に縄文土器の編年研究で名を馳せた山内清男、大学教授を歴任し、考古学の発展に寄与した八幡一郎と共にこの謎に挑みます。そして発掘調査と実証的な研究方法を基とした関東の縄文土器の編年(同じ特徴を持つ土器をまとめ、新旧を整理して並べた年表)を発表しました。この発掘後、3人はそれぞれのフィールドで縄文土器の編年研究を進めていきます。

甲野は、昭和28(1953)年に刊行された『縄文土器のはなし』の中で、縄文土器研究の本来の目的は、土器それぞれの特徴や変化を通じて、その背後にある当時の生活や社会、文化を知ることであり、編年的研究は目的にいたる過程の一つに過ぎないと記しています。その言葉のとおり、甲野の研究は環状列石(ストーンサークル)や土偶・土面(粘

土製の仮面)・土版(板状の土製品)、装身具から身体装飾などにおよび、モノから縄文時代の人々の精神性を復元しようと試みました。

国立での活動

戦後、甲野は杉並区から国立市に転居し、多摩地域を中心に遺跡の調査や保存に尽力しました。特に次代を担う子どもたちのために、科学的・実証的な歴史復元や正しい歴史教育が必要であるとし、博物館の設立や中学・高校生を対象に発掘調査の指導を行っています。

そこで、中学生による発掘調査の是非が問われると、当時、高度経済成長に伴う大規模な開発によって、未調査の遺跡が破壊される現状があったことから、次のように答えています。「中学生の発掘が未熟であっても、学ぶ意欲を認め、正しく導くのが教育であり、埋蔵文化財がその価値を発揮するためには、教育と結びつく必要がある。なぜなら、これらが歴史的にどのような価値を持つものか、なぜそれを保護するのかという理由を、広く社会に知らせる必要があり、その価値を議論することで、それらが『われわれの文化財』となりうるからである。」



イラスト 甲野勇



南養寺遺跡出土 顔面把手付土器 昭和36(1961)年頃

国立市内の南養寺遺跡から出土した「トッテー」として知られている顔面把手付土器は、昭和34(1959)年、甲野の指導のもと、国立町教育研究会社会科部が中心となり、国立第一中学校の生徒らが参加して行われた発掘調査で出土したものです。皆さんもぜひ、くにたち郷土文化館に展示されているトッテーに会いに行ってみてください。

くにたち郷土文化館収蔵資料データベース (甲野勇氏資料)のデジタル化を進めています!



*型式学的方法：遺物の特徴によって分類して変化の様子をとらえ、年代の変遷や地域間の検討によって時間・空間・型式間での関係性を明らかにする研究方法。
層位学的方法：遺物が出土した土層(原則として下は古く上は新しい)の新旧関係をとらえ、時代のものさしとする研究方法。

生涯学習課社会教育・文化芸術係

WELCOME 六小3年生!

二学期にオープンしたピカピカの「KAMU COME キッチン」で食育授業を行いました

給食ステーションで食べる給食は、いつもと違うようで、とても楽しそうに給食時間を過ごしていました。給食を食べたあとは、給食ステーション栄養士が食育授業を行いました。全国学校給食週間中の1月29日(月)に、給食ステーション内を見学し、学校給食の重要性や給食が届くまでについて学んでもらいました。



給食ステーションでは、小中学生の見学、保護者や市民のみなさまの試食会など、多くの方々の見学試食会を積極的に受け入れています。詳しくは食育推進・給食ステーション(☎572-4177)までお問い合わせください。



全国学校給食週間中、小中学校給食は【BookMenu】でした

給食ステーションとくにたち図書館とのコラボ給食として、期間中は、本に出てくる料理や食材をイメージした【BookMenu】で、小中学生に給食時間を楽しんでもらいました。メニューを考案するにあたり、給食ステーション栄養士とくにたち図書館の職員で何度も話し合いを重ね、学校司書教諭からもアドバイスをいただきました。

小中学生に人気のある本、懐かしい絵本などから、12冊を選定しました。期間中は毎日異なった【BookMenu】の給食時間を過ごすことで、食べ物だけでなく本にも興味をもってもらい、本と触れ合うきっかけになればという願いを込めて給食を作りました。



Book Menu 2024

給食ステーション・くにたち図書館 コラボ給食



Table with columns for '小学校' (Elementary School) and '中学校' (Middle School), each with 'Menu' and 'Book' sub-columns. It lists various food items and the children's books they are inspired by, such as 'Book Menu' and 'The Tale of Genji'.

市内企業等とのコラボ給食!

国立市では、市内教育施設(エコール辻東京)の学生考案メニュー、市内企業(株式会社ソーキ)の製品とコラボ給食を行い、市内との関わりから地域を身近に感じ、楽しむことのできる学校給食を実施しています。

2月2日 小・中学校給食節分献立

株式会社ソーキの「みそ大豆」は豆まきの大豆をイメージ



2月6日、2月8日、2月29日の小・中学校給食は、エコール辻東京の学生が、「小・中学生が喜ぶ野菜たっぷりの給食」をテーマに献立を考案



小学6年生・中学3年生の思い出リクエスト給食 総合1位:くにたちほうれん草アイス

人気メニュー

Table with two columns: '料理' (Main Course) and 'デザート' (Dessert). It lists popular menu items like 'ABC Macaroni Soup' and 'Frozen Mikan'.

給食ステーションでは、毎年小学6年生と中学3年生を対象に「卒業までにもう一度食べたい給食」についてアンケート調査を行い、人気があった献立を三学期の給食に取り入れています。卒業生には残り少ない給食時間を楽しんでもらい、素敵な思い出となるよう、三学期の給食は、特に力を入れています。

無償提供いただいた北海道産ホタテを小・中学校給食に!

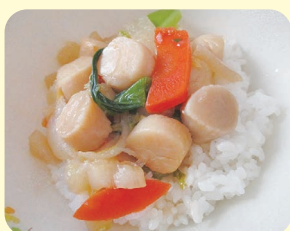
国外への輸出量が減ったことで、出荷できなくなったホタテを、1月には北海道森町から、2月には日本海老協会から無償提供いただきました。豊かな自然の中で育った栄養満点のホタテ。感謝の気持ちを込めて調理し、くにたちの小中学生に届けました。

1月17日中学校給食「ホタテフライ」



1月18日小学校給食「ホタテのクリーム煮」

2月1日小中学校給食「ホタテと大根のうま煮丼」



未就学児童への試食会

未就学児やその保護者の方などを対象に、給食を体験する機会を設けています。

毎年、新一年生が、小学校給食を楽しみに感じ、不安なく始められるように、給食を体験する機会を設けています。働く保護者の方々も参加しやすいよう、就学時健診日に合わせて親子試食会を開催したり、年長クラスの給食模擬体験会を受け入れたりしています。今後も、より多くの方に給食体験の場を提供できるよう努めてまいります。



教育委員と生徒会役員の懇談会

1月31日(水)、教育委員と国立市立中学校3校の生徒会役員が国立市役所にて、リラックスした雰囲気の中、楽しく活発な意見交換を行いました。

懇談は主に「学校のよい取組」をテーマに行われ、生徒会役員の皆さんからは、「PTAとの交流会や炊き出しの予行練習 Camp のように、自校だけでは思いつかなかった発想を知ることができた」、「カジュアル・ウィークを本校でも取り入れたい」、「3月11日に携帯トイレを配布したり防災アンケートを配布したりする等、防災の意識を高める取組を知った」、「能登半島地震における募金活動等、中学校で出来そうな取組を話し合えてよかった」等、率直な意見を聞くことができました。また、「他校の生徒会役員と交流できてよかった」、「他校の取組を知り、自校の取組にも生かしたい」等の感想も述べていました。教育委員会では、このような機会を生かしながら今後も学校教育と教育行政の一層の充実に努めてまいります。



教育指導支援課



国立市教育委員会研究奨励校



国立市教育委員会では「特色ある開かれた学校づくり」を国立市立小・中学校で推進するため、研究奨励校制度を設けています。奨励校は、研究活動の成果を研究発表会や研究紀要等を通じて市全体へ還元します。今年度は、国立第七小学校が2月9日(金)に研究発表を行いました。

七小は2年間にわたり「他者を理解し、相互に関わり合える児童の育成 ~互いの思いや考えを共有するための工夫を通して~」を研究主題とし、子どもたちにとって「より良い授業」を目指し、「特別の教科 道徳」を校内研究の中心に据え、授業改善に取り組んできました。

七小の研究は、参加した市内の全教員で共有し、各校においても、授業改善の一助として研究成果を活用し、日々の授業改善に取り組んでまいります。

教育指導支援課 (内線) 336

図書館「YA すたっふ」募集!

「YA (ヤングアダルト) すたっふ」を募集します。令和5年度は、中学生4人、高校生5人、図書館職員4人で活動しました。7月に勉強や進路・将来について相談できるイベント「GO TO THE FUTURE」、1月に「ブラインドブックフェア」の企画・準備を行いました。学校も学年もさまざまですが、フランクに楽しく活動しています。

図書館や本が好き、イベントの企画や運営に興味がある人、ぜひ一緒に活動しましょう。すたっふの活動については、毎月参加できなくても大丈夫です!ぜひ図書館職員までご相談ください。

10代向け図書館だより「YA ペーパー」のイラストカットやイベントのポスターを描いてくれる人も大歓迎です。また、令和6年度は10代向けの作家講演会を開催予定です。講演会の実行委員会も募集します!詳細は図書館ホームページをご覧ください。応募をお待ちしています。

【活動】

〈対象〉市内在住、在学、在勤の中学生以上の10代の方

〈回数〉毎月一回程度

〈場所〉中央図書館 集会室

〈費用〉無料

【応募方法】中央図書館へ電話または直接申し込み

中央図書館 YA サービス担当 ☎ 576-0161



国立第二小学校仮移植樹木の里親募集

第二小学校の保護者を含む市民団体である「~つづく つながる~くにたちみらいの杜プロジェクト」様より、工事のため撤去予定であった樹木の移植を行いたい旨のお申し出がありました。教育委員会としては協定を締結し、建替工事の支障とならない範囲で市民活動として作業いただきました。

しかし、新たな第二小学校の植栽を含む外構工事の計画上の理由等から、全ての樹木を学校に戻すことはできません。

そこでプロジェクト様では、当該樹木をご自身の敷地等に引き取ってくださる方(里親)を募集しております。詳細についてご興味のある方は、下記ホームページをご覧ください。

URL: <https://mirainomori2023.wixsite.com/mirainomori>

メールアドレス: mirainomori2023@gmail.com



▲プロジェクト様ホームページ

教育施設担当

国立市教育委員会と特定非営利活動法人子ども大学くにたちが包括連携協定を締結しました

子ども大学くにたちは、令和元年6月の設立以来、国立市内においてSDGsをカリキュラムの基軸に据えて、主に小学生向けの授業等を行ってきました。令和4年度からは毎年、私たちの直面するグローバルな諸課題を解決する17の目標を子どもたちが知り学ぶことを期待して、市教育委員会と共催で「SDGs全国子どもポスターコンクール」を行っています。

11月29日(水)には、子ども向けSDGsの推進・普及等のより一層の連携を図るため、協定を締結しました。今後も連携して子どもたちの学びの推進をめざします。



教育総務課



くにたち中央図書館 冬のお楽しみ会 「クリスマス★絵本と音楽を楽しもう!」



令和5年12月17日(日)に、くにたちお話の会・絵本の読み聞かせボランティア・市民音楽サークル「オトモ」と一緒に、普段は図書館でおこなわれている「えほんのじかん」・「おはなしのじかん」を、図書館を飛び出して、旧国立駅舎で行いました。

普段は体験できない、音楽を楽しみながらのイベントに参加した方からは、「楽しかった」、「またやってほしい」などのお声をいただきました。中央図書館



10代のためのブックリスト「LOOK BOOK」を配布中です!

10代の皆さんに読んでほしい本を紹介するブックリスト「LOOK BOOK」を発行しました。

過去一年間に出版された作品を中心に、図書館員が本を選んでいきます。小説からノンフィクションまで、幅広いジャンルからおすすめの本を紹介します。

発行は毎年3月です。中央図書館ほか、分館、分室で配布しています。図書館ホームページや電子図書館から見ることができます。読書のきっかけや、新しい本との出会いに、「LOOK BOOK」をご活用ください!

中央図書館 YA サービス担当 ☎ 576-0161



図書館「ブラインドブックフェア」を行いました

1月4日(木)から1月31日(水)にかけ、中央図書館・北市民プラザ図書館で第6回「ブラインドブックフェア」を行いました。図書館の本を新聞紙で包み、添えられた紹介文をヒントに本を借りていただくイベントです。

紹介文はYA すたっふ(図書館の中高校生ボランティア)と図書館職員が主に用意しました。利用者の皆様からも、素敵な紹介文を数多くお寄せいただきました。

集まった紹介文と本を新聞紙で包んだのはYA すたっふです。古い英字新聞を使って、一冊一冊丁寧にラッピングしました。

今年は新聞社の取材を受け、記事をご覧になった方がご来館くださる等、多くの方にこのイベントを知っていただくことができました。

利用者の方からは、「今回出会わなかったら絶対に開けなかった本でした」「紹介文を読むのも楽しかったです」「これからも続けてほしい」などの感想をいただきました。中央図書館 YA サービス担当 ☎ 576-0161



就学援助制度

教育費にお困りで世帯の所得合計が一定基準に満たない保護者の方に、学校で必要な教育費の一部を援助しています(国公立私学就学者も対象)。詳細は、お父さまが国立市立小中学校に在籍している保護者の方は、3月に学校で配布する「令和6年度就学援助受付のお知らせ」を(4月に小学1年生になるお父さまには4月初旬に配布)、それ以外の学校に就学されている場合は市ホームページをご覧ください。

【申請期間】4月1日(月)から4月30日(火)まで

教育総務課学務保健係 (内線) 332



寄贈していただきました

東京国立ロータリークラブ様よりランドセルカバー600枚及び創立55周年事業として「ドラえもんはじめての漢字辞典」を小学校8校あてに計320冊寄贈していただきました。



教育指導支援課

教育委員会の動き

教育委員会は、前号でお知らせした以降、12月から2月まで定例会を3回開催いたしました。

〈主な議案〉

・令和6年度教育費予算案について

・国立第二小学校改築に伴う仮移植樹木の本植に関する協定の締結について

・第四次国立市子ども読書活動推進計画(案)について

〈主な報告事項〉

・コミュニティ・スクールの設置について(案)

・国立市のフルインクルーシブ教育の方向性(案)について

・「ふれあい月間」(令和5年度第2回)実施後の調査(不登校・いじめ)に関する報告について

・令和6年度教育委員会各課の事業計画について

教育総務課